

趣 意 書

県内唯一 米沢の飛び込みプール存続を求めて

◆米沢の飛び込みプール



1990年、べにばな国体のために米沢市営プール内に建設されました。プールの深さは5m、飛び込み台の高さは10m、7.5m、5m、3m、1mがあります。

通常、6月中旬から8月末まで米沢ダイビングクラブが練習場として使用している他、東北大会などの会場としても利用されています。毎年飛び込み体験会も行われ、多くの小学生の参加があります。

◆米沢ダイビングクラブ



1987年発足。現在、部員9名（高校生2名、中学生1名、小学生6名）夏はプールで、冬は隣接するクラブハウスでトランポリンやマット運動などを行い、空中感覚を養っています。

2010年より毎年国体やインターハイなど全国大会で入賞しています。以下、近年の戦績例です。



クラブハウスでの練習風景

2018年

K君	国体	少年男子3m飛板飛込	第4位	
Mさん	全国中学総合体育大会	女子3m飛板飛込	第7位	
		同 高飛込	第4位	
		全国夏季JOC女子14~15歳	3m飛板飛込 第4位	
I君	全国夏季JOC	男子14~15歳	3m飛板飛込 第8位	
		同 高飛込	第6位	
		全国春季JOC	男子14~15歳	1m飛板飛込 第4位

2019年

Mさん	国体	少年女子3m飛板飛込	第6位	
		同 少年女子高飛込	第6位	
I君	全国中学総合体育大会	男子高飛込	第6位	
		全国夏季JOC	男子14~15歳	3m飛板飛込 第5位
		同 高飛込	第4位	

◆体験会



毎年夏休みに開催される飛び込み体験会。毎年延べ約100名の子も達が参加し、ここ米沢でしかできない体験をしています。

責任者 米沢ダイビングクラブ保護者会
代表 小関 紀子

県内唯一 飛び込みプールの存続を求める署名

責任者 米沢ダイビングクラブ保護者会
代表 小関 紀子

五輪種目の「飛び込み」ができる県内唯一の飛び込みプール(米沢市営プール内)の廃止方針が市から示されました。

飛び込みプールは、小中高生が所属する米沢ダイビングクラブが練習拠点としており、これまで各年代で全国大会入賞の好成績を残しています。飛び込みプールがなくなると、競技を続けることが難しくなります。また、毎年飛び込み体験教室を開催し、多くの子どもたちが、ここ米沢でしかできない体験をしています。

そこで、これからも多くの子供たちが競技を続けられ、飛び込み体験ができるように、飛び込みプールの存続を求めます。

この趣旨にご賛同いただき、ご署名をお願いします。

番号	氏 名	住所 または 学校名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

この署名は、上記の目的以外には使用しません。